YURA TOWN 70th ANNIVERSARY

2025 No.148 12

由良町

こんにちは！

議会です

発行／由良町議会　発行責任者／玉置 一郎
編集／議会広報編集委員会
〒649-1111　和歌山県日高郡由良町里1220-1
TEL:0738-65-1100　FAX:0738-65-0226
E-mail:gikai@town.yura.lg.jp

令和7年9月 定例会

[会期] 9月9日～18日

令和７年９月定例会は、９月９日から１８日までの１０日間の日程で開催されました。

定例会には、報告２件、契約１件、条例一部改正４件、規約の廃止１件、人事２件、補正予算４件、決算認定６件の計２０件の議案が提出され、審議の結果、すべて原案のとおり承認、可決、同意、認定しました。

また、議会から意見書１件の議案が提出され可決しました。

一般質問は６名の議員が登壇しました。

令和６年度一般会計・特別会計決算

認定

会計名	歳入	歳出
一般会計	46 億 3,202 万 6,598 円	44 億 458 万 7,283 円
国民健康保険特別会計	8 億 381 万 1,459 円	7 億 9,235 万 8,845 円
後期高齢者医療特別会計	1 億 9,109 万 8,524 円	1 億 9,043 万 7,971 円
介護保険特別会計	8 億 750 万 9,219 円	7 億 8,197 万 6,614 円
水道事業会計	2 億 3,659 万 3,391 円	2 億 8,713 万 9,628 円
下水道事業会計	6 億 5,398 万 9,907 円	8 億 2,017 万 6,802 円

歳出予算の主な使い道

総務費

決算額
6億9,440万2,999円

- 旧中央保育所公園整備
- ふるさと納税事業
- 民間賃貸住宅家賃補助事業
- 移住定住支援事業

民生費

決算額
10億9,577万7,116円

- 物価高騰対応重点支援給付金給付事業
- バス・タクシー運賃助成事業
- 地域福祉センター昇降機改修工事
- 子育て支援事業

衛生費

決算額
6億9,532万708円

- 母子保健事業
- 新型コロナウイルス等予防接種事業
- ひだか病院事業負担金
- 由良斎場火葬炉修繕工事

農林水産業費

決算額
1億5,454万5,093円

- 農業振興事業
- 農業活性化事業
- 有害獣捕獲奨励事業
- 柑橘統合撰果施設整備負担金
- 水産業振興事業

商工費

決算額
9,648万8,704円

- プレミアム商品券事業
- 観光振興事業
- 観光ＰＲ資材費
- 戸津井公衆便所防水シート張替工事
- 白崎海洋公園内施設等補修工事

土木費

決算額
3億6,473万3,624円

- 町道②－１号線（大引）道路改良工事
- 町道３－１２３号線道路改良工事
- 橋梁補修設計及び補修工事
- 緊急対策事業
- 南改良住宅外壁等改修工事

消防費

決算額
1億7,600万8,049円

- 日高広域消防事務組合負担金
- 地区復興計画等事前策定業務
- 防災倉庫設置工事
- 防災ネットワークカメラ更新工事

教育費

決算額
2億7,168万4190円

- スクールバス運行委託料
- 小中学校トイレ改修工事
- ジュニアリーダー育成事業
- 学校給食費補助事業

監査委員の審査意見

令和６年度の決算における実質収支については、一般会計は１億 9,858 万 5 千円、国民健康保険特別会計は 1,145万 2千円、後期高齢者医療特別会計は 66万 1千円、介護保険特別会計は 2,553 万 2 千円、水道事業会計はマイナス108 万 8 千円、下水道事業会計は 72 万 2 千円と水道事業会計以外がそれぞれ黒字となっており、一般会計の実質単年度収支においては、1億3,106万 4千円の黒字となっています。

各特別会計は一般会計からの繰入金に依存する面もあるため、各特別会計での健全財政の堅持に努めていただきたいと思います。

経常収支比率については、前年度と比較して 1.2 ポイント増の 88.6%、実質公債費比率については、毎年増の傾向、前年度と比較して 0.7 ポイント増の 13.9%となっています。

将来負担比率については、前年度と比較して 23.4 ポイント減少しているものの、依然として県内の団体の中では最も高い比率となっています。

今後、実施される事業について計画的に行い、財源は国・県支出金や地方交付税に措置される地方債を活用し、適正な基金を保持することで、当該比率の縮減に努めていただきたいと思います。

令和７年８月 22 日

久世　修裕 監査委員
三上　幸夫 監査委員

人事

同意

由良町教育委員会教育長

西端 成太郎（にしばた せいたろう）氏
（大引948番地の2）

令和7年9月30日をもって退任された寒川正美氏の後任として新たに教育長として任命することに同意しました。
（任期：令和7年10月1日から3年）

由良町教育委員会委員

米澤 勝利（よねざわ かつとし）氏（衣奈759番地）

令和7年9月30日をもって退任された青山さとみ氏の後任として新たに委員として任命することに同意しました。
（任期：令和7年10月1日から4年）

日高郡町議会議長会会長

玉置　一郎 議長が就任

「日高は一つ。日高郡６町の議長が連携し、
何事にも対応できる議長会を目指す」

・令和７年９月９日就任
（任期は令和８年の定期総会の日まで）

令和６年度　一般会計決算　歳入

地方交付税（普通交付税・特別交付税）22 億 2,420 万 8,000 円

問　【三好議員】地方交付税で、普通交付税が 5,913 万 5,000 円の増額でありがたいことなのですが、地方交付税の性格からいうと、一般的には人口とか面積で決まると思うのですが、このようにたくさん増加した主な理由は。

答　【総務政策課長】普通交付税については、面積、人口等が大きな要因ですが、今回 5,900 万円程度、前年と比べて増えている分については、国の臨時経済対策、物価高騰に伴う経済対策費と、給与改定費等を見込んで、国から各地方自治体への追加交付が主な要因です。

令和６年度　一般会計決算　歳出

商工費　観光 PR 資材費　135万円

クラシックカーイベント「La Festa Primavera2025」

問　【岩﨑議員】観光ＰＲ資材費 135 万 2,625 円を支出しているが、１年間にどのような活動をしたのか。

答　【産業振興課副課長兼観光推進室長】
令和６年度につきましては、クラシックカーレース（白崎海洋公園）で町長からドライバーの方々に産品を配ったり、ツーリズム EXPO ジャパン（東京）、美濃加茂市民まつり（岐阜県）等で粗品を配ったり、小学校の新入生に対してゆらの助の帽子を贈りました。

商工費　観光大使活動業務委託料　129万円

問　【山口議員】観光大使活動業務委託料として 129万 8,000 円支出していますが、観光大使にはどういう活動をしてもらったのか。

答　【産業振興課副課長兼観光推進室長】
令和６年度に関して、東京のイベントで観光大使の「由良ゆらさん」と「＃よーよーよー」のメンバーと合わせて５人、由良町のブースで「健康いきいきソング」の体操を踊り、また、特産品のＰＲやＳＮＳ等でも由良町の情報を発信してもらいました。

観光大使 由良ゆらさん（ツーリズム EXPO ジャパン）

令和６年度　一般会計決算　歳出

総務費　ドローン講習負担金 50万円

役場保有のドローン

問　【岩﨑議員】何名の職員がドローンの操縦資格を取得したのか。
また、ドローンを使ってどのような活動を行ったのか。

答　【総務政策課長補佐】令和６年度は３名が新たに資格を取得しており、既に取得している４名と合わせて合計７名となります。
今までの利用実績は、観光ＰＲ用の素材の撮影や行方不明者の捜索、漁港施設の点検等で利用しました。

総務費　空き家改修支援事業補助金　240 万円

問　【三好議員】この補助金を受けられる条件は。

答　【産業振興課長】空き家バンク登録物件に入居され、新たに由良町に移住される方、または転居される方が受けられます。
【産業振興課副課長兼観光推進室長】町内転居、町内の方でも空き家バンクに登録している物件に入居される方に関して、令和６年度から新たに適用しています。

土木費　空き家解体事業費補助金　150万円

問　【三好議員】特定空き家除却事業費補助金３件で 150 万円とあるが、この補助金の支給条件は。

答　【地域整備課副課長】保安上危険な空き家を特定空き家と認定します。これは点数制で、例えば避難経路沿いにあると 50 点、壁や基礎にひびが入っていると 25 点のように加算され、これが 100 点を超えれば特定空き家に認定され、取り壊し費の２分の１もしくは最大 50 万円の補助金が出ます。ただし、その取り壊し業者は町内業者に限ります。

土木費　道路維持費　町単独工事　不用額　718万円

町道（吹井地内）

問　【山口議員】道路管理維持費で不用額が出ている。
町道のセンターラインを引くとか、予算を適正に使うべきでは。

答　【地域整備課副課長】ラインについては、センターラインと外側線を８月に発注し、随時工事が進んでいます。

一般会計決算　歳出

徴税費　コンビニ収納代行手数料　36万円

問　【三好議員】徴収件数と収納金額は。

答　【税務課副課長】町税と国民健康保険税の徴収件数は3,870件で、収納金額は5,602万円です。
なお、コンビニ収納の件数の割合は、全体の約13%となっております。

特別会計決算　歳出

介護保険制度

問　【川出議員】介護保険制度が始まって20年近く経つが、制度が変わり過ぎて理解しにくい。
認定者数は増える傾向にあるのか。
また認定料金は制度開始当初と違うのか。

答　【住民福祉課副課長】介護保険制度は平成12年から始まり、制度的には申請いただいて、認定された方が介護保険のサービスを利用するとなっています。
認定率については、昨今減少傾向にあります。
認定にかかる費用については、主治医意見書の費用、認定調査の費用の変更はありません。

総括質疑

問　【三好議員】今後を考えると、剰余金を残していくことも重要ですが、積極的に過疎対策、定住促進対策等の新しい事業を始めることも考えては。
例えば、予算があるのであればどんなことをしたいのか、12月議会までに各課で検討してみては。何か意見があれば。

答　【町長】常々、私は課内で「雑談」をせよと言っています。
その雑談の中に何かヒントがあるような気がしますので、目標を立てて、いろんな提案が出てくれば、どんどん取り入れていきたいと思っています。

意見　【産業振興課副課長兼観光推進室長】町外へPRに行くと、白崎を知っていても由良という名前が浸透していないと実感することが多々あります。
「由良」と書いた箸を作り、皆さんにお渡しして、食事の際、常に知ってもらえたら。
【総務政策課副課長】南海トラフ地震が起こった際の課題として、トイレの問題が上がっています。
1基500万円程度かかりますが、臭いもなく、排水も必要なく、電気もソーラー発電での簡易トイレ、そういう対策ができたらと。

一般質問

議員が町行政の問題などを問いただす「一般質問」は、９月１１日に行われ、
６名の議員が登壇し、町当局の考えについて質問しました。

1 川出　純 議員 …… P8
津波警報はどう生かされるのか

2 森　三枝子 議員 …… P9
1. カムチャツカ半島地震について
2. 災害時協力井戸への手押しポンプ設置について

3 三上　幸夫 議員 …… P10
1. 補助金交付規則運用について
2. 津波警報について

4 野田　悟 議員 …… P11
由良町の人口減少と少子化について

5 岩﨑　武司 議員 …… P12
町道の除草について

6 山口　太志 議員 …… P13
1. 物価高騰対策について
2. ひだか病院について

川出 純（かわで じゅん）
議員

津波警報はどう生かされるのか

議員

7月30日に津波警報が出され、その後、町民の声を聞くと、家から車で江ノ駒の斎場まで逃げた方や、家族で車で高台に逃げた方、御坊市から門前に逃げてきた方もおられました。

家族に高齢者がいるので逃げなかった方、大丈夫だといって逃げなかった方も何人かおられました。

南区では、区長を中心に高齢者の家に声かけをして回ってくれました。

私自身は、避難場所である枇杷ケ谷（びわこだに）で待機していましたが、午前中でも暑くて木陰を探すのも大変でした。

今後の教訓はどのように考えているのか。

避難所の運営管理については、女性担当者の配置、洋式トイレの増設、避難行動支援者制度の作成と要支援者の名簿作成などは進んでいるのか。

町長

午前8時37分に津波注意報が発表され、対応を開始しました。

町においては、警戒体制を設置し、防災行政無線による広報と消防団本部団員による水門・陸上設置のゲートの閉鎖と併せて、公用車による広報活動を沿岸部を中心に実施しました。

午前9時40分に津波警報が発表されたことを受け、配備体制に切り替え、注意喚起から高台への避難を周知する内容に変更して広報活動を継続しました。

また、避難者の熱中症を懸念し、空調設備が整った施設を選び、町内3か所の津波浸水区域外の避難所と廃校した2小学校施設を開設し、避難指示を発令しました。

避難所の運営管理については、自主防災会等の地域住民による避難者が自ら運営することを基本とした避難所運営マニュアルを策定しています。

その中で、女性等の様々な避難者の意見が避難所運営に反映されるよう配慮することとしています。

また、避難所に指定している公共施設のうち、洋式トイレの設置数は27施設です。

最後に、避難行動要支援者の台帳登録者数は、現在436人で、随時、個別避難計画の作成を進めています。

議員

避難所におけるペットの同伴は可能か。

啓発活動の問題は。

総務政策課長

ペットの同伴については、ペットを飼っていない避難者の居住空間から離れた場所に専用スペースなどを確保し、ペットの受け入れ環境の整備をしていくことは必要だと認識しています。

啓発活動については、自主防災組織はもちろん、子どもや高齢者の方とか、いろいろな方が防災について学んでいただくことは大変大事だと思いますので、今後、出前出張して防災講座を開いていけたらと考えています。

❶ カムチャツカ半島地震について

議員

去る7月30日8時37分頃、日本の太平洋沿岸に3メートルの津波が来るという津波警報と避難を呼びかける放送がありました。

何事もなかったようなので誠に良かったと思っています。

今回の津波警報に対し、どのように対処されたのか。また、何名の方が避難し、どのような場所に避難されたのか。

問題はなかったのか。また、津波警報の対応で見えてきた課題は何ですか。

町長

避難者の数や場所につきましては、各区の区長さんにもご協力していただき、約145名の方が各地区の避難場所にそれぞれ避難されたことを確認しています。

他にも、町内企業の従業員の方々がそれぞれ高台へ避難されたことを確認しています。

炎天下での避難は熱中症のリスクがありましたので、空調設備がある避難所を開設しました。

課題としては、高台にある屋外避難場所における暑さ対策であると考えています。

森（もり）　三枝子（みえこ）
議員

❷ 災害時協力井戸への手押しポンプ設置について

議員

能登半島地震で被災された方が一番困ったことは、水道設備が被災して水が出なかったことです。

復旧は長期にわたります。

全国で災害時協力井戸の登録が進められています。

由良町でも、すでに井戸の調査、登録が完了していると認識しています。

町は、地震等が起こり被害を受ければ、水道復旧にはどれくらいかかるか予想していますか。

そのために手押しポンプの設置を進めていただきたいと考えています。

調査を行い登録された井戸の状況も含め、答弁を求めます。

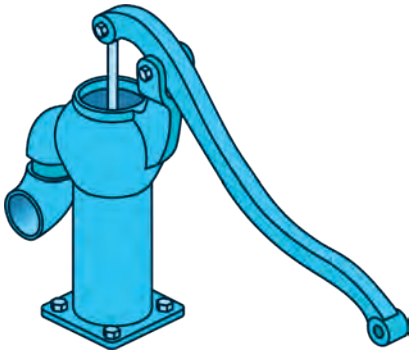
町長

井戸の調査は、令和6年6月、令和7年5月にそれぞれ行いました。

町自主防災会協議会総会において、災害時協力井戸の必要性を改めて会員の皆さんと共有するとともに、共通の目標として、各区1箇所以上の井戸を確保することといたしました。

自主防災会協議会との議論の中において、水質調査に要する費用の負担軽減措置として、財政的な支援の要望をいただいており、来年度の予算化に向け、準備を進めています。

8月末時点における協力井戸の把握件数は52件です。



みかみ　ゆきお
三上　幸夫
議員

❶ 補助金交付規則運用について

議員

「区や婦人会など」の団体から補助金申請を行う際、3月末までという流れだが、「商工会・観光協会」の団体からの補助金申請は、5月中旬もしくは下旬に行われたと地方紙に掲載されていた。

課によって又は担当によって補助金の運用が違うのか。

運用を統一できなければ、町民が不公平であり、町民の不信を招く。

実態はどうか。

町長

補助金は、交付規則に従って運用しており、課又は担当によって交付規則を無視しているというようなことはありません。

団体によって事業の開始時期が異なるため、申請書を提出する時期に違いは出てきます。今後も引き続き、規則等を遵守し、事業を行ってまいります。

議員

由良町補助金等交付規則第16条第2項で、「町長は補助金等の交付の目的を達成するため必要があると認めるときは、概算払又は前金払により補助金等を交付することができる。」と、この条項だけ強調され、特別扱いで今日までずっと続いている。

第16条第2項の続きの第17条は、前項とは真反対です。

婦人団体の方々は、年度当初から活動されています。

商工会や観光協会の補助金は、金額の桁が2桁多いんです。

事務の人もいるのに、年間の活動期間が少ない。

そして概算払又は前金をもらっています。

なぜ4月の当初から事業を始めていないんですか。

指導して、進めるべきではないか。

町長

商工会および観光協会については、事業の開始時期がそれぞれ異なるため、総会までに事業内容の報告を受け、その内容を精査したうえで支出の適正を確認しております。

不正など特段の問題が認められない場合には、適切に補助金を支払っております。

❷ 津波警報について

議員

今回、津波到達予定時刻まで時間が長かったので、津波浸水区域外に自動車での避難を考えた人が多いと思います。

早く公用車が避難したと聞きましたが、見回り回数を増やしたり、津波到達寸前まで教えてあげるべきだと思います。

総務政策課長

広報は、町の防災行政無線による放送、海岸線を中心にした町の公用車での避難の呼びかけ等をできる限り実施しました。

由良町の人口減少と少子化について

議員

本年1月末から7月末までの間に、由良町の人口が101人減少し、4、912人となりました。

毎月平均して減少していますので、来年には4、800人前後になる可能性が高い。

地域の人口により経済活動をしている商業施設、医療機関等は人口減少に伴い、売上の減少が進むため、撤退等も進んでいく可能性が高いと考えられるので、抜本的な対策を早急に実施する必要があるのでは。

町長

私も、人口減少は当町における最重要課題であると認識しております。

当町の人口減少に少しでも歯止めをかけ、減少の傾斜をより緩やかにするための対策を講じるため、新たに第3期由良町総合戦略の策定に取り組んでいるところです。

人口減少社会、SDGs、DX、脱炭素化などの様々な社会の変化に対応しつつ、国や県などの動向と整合性を図りながら、効果的な事業を選定、実行していくことが重要であると考えております。

また同時に、令和6年6月に国から示された「地方版総合戦略の策定等に向けた人口動向分析・将来人口推計の手引き」に基づき、あらゆる角度からの分析を行い、人口ビジョンの見直しを進めております。

野田（のだ） 悟（さとし） 議員

議員

人口対策は、長期計画では対策にはならないと考えます。

今の調子で人口が減少すれば、10年後、20年後の計画を立てても、広い道ができても通る人がいない、施設を造っても集まる人がいない、そんなことも十分考えられます。

若者の移住受け入れを促す施策を早急に打ち出さなければ大変なことになると考え、未使用の町有地があれば若者向けに分譲できないか、農業振興地内でも自治体なら宅地化できるのでは。

町長

農地の宅地化については、行政に限らず、個人や法人等においても転用は認められております。

しかし、今、米不足のようなことが続いており、食の安心安全という観点から農業のことも考え、慎重に取り組んでいかなければならないと思っております。

また、広い町有地はないのかということですが、まとまった面積の町有地は、今、所有しておりません。

議員

今、一番効果が上がっているのは賃貸住宅の補助金制度ですが、この補助金も5年間という期間が限定されていて、5年経ったときに若者が町外へ転出されて家を建てたという例が結構聞かれます。

それを考えれば、やはりこの補助金の後のことを考えられる施策が必要であると考えますが。

産業振興課長

民間賃貸住宅補助ですが、令和6年度末で37件の方に補助を行っておりますが、令和5年度と比べると減少、新規申請者も減少している状況です。

また、令和7年度末をもって新規申請のほうも終了する予定なので、引き続き実施していくのかどうかは、今検討しているところです。

いわさき　たけし
岩﨑　武司
議員

町道の除草について

議員

①福祉道路と呼ばれている、あかつき園、みのり園、福祉センター周辺の道路及び歩道

②ヘリポート周辺から斎場にかけて、特に歩道は一面が雑草に覆われていて歩いて通れない。

③吹井三叉路から町民グラウンド前を経て旧白崎小学校に抜ける道路は、白崎海洋公園までのレジャーや観光の重要な幹線道路

④江ノ駒の只越から由良ドックへ向かう道路は、斜面から歩道や車道にまで飛び出した草木が多く、自動車やバスが気をつけて走行しなければならない。

以上、相談のあった4件であるが、町としてどのように取り組んでいるか。

町長

町道の除草作業については毎年発注し、主要幹線道を中心に、草木が繁茂する7月から9月にかけて実施をしております。

しかしながら、すべての町道の除草作業を発注できるわけでもなく、交通量の少ない枝線等の町道については、生活道路として利用される地域の皆様方の奉仕作業のご協力を得ながら、町道の維持管理を行っているところです。

議員が言われる4か所につきましては、7月に町が除草工事を発注し、順次対応しているところです。

議員

近年の高温多湿の異常気象下では、先ほどの4か所以外にも除草作業が必要な場所があると思います。

今後、町に直接相談に来られた場合、対応してもらえるか。

町長

依頼があれば、現地を確認し、状況に応じて対応していきたいと考えております。

限られた財源の中で道路の維持管理を行うには、地域住民の方々の協力と道路を利用する皆様方と連携・協力することが重要となってきます。

高齢化、過疎化が進む日本にとって道路の維持管理を持続的に行うことは、由良町だけでなく全国的な課題となっております。

地域住民や道路を利用する皆様方のニーズを踏まえながら、安全・安心に利用していただけるように、今後とも適切な道路維持に努めます。

町道（除草前）

町道（除草後）

❶ 物価高騰対策について

議員

町の基幹産業でもある一次産業の漁業では、地球温暖化の影響からか、水産物が減少し水揚げ所得額も減少している。

農業では、気温上昇と水不足などで生産量が減少するなど、自然災害が起きていることは町として把握しているのか。

このような生活の中で、所得が上がらない、給料が上がらない、その上に物価上昇になり、町民は大変な暮らしをしている人が多いのです。

どのような物価高騰対策を立てているのか。

町長

物価高騰は、コロナウイルス感染症が始まった頃から原料価格が高騰し始め、その後、コロナ禍から経済が回復するにつれ、世界各国で物やサービスの需要が増加しました。

加えて、ウクライナ侵攻の影響が重なり、国内においても食品や日用品等の値上がりが今も続いています。

町内におきましても、水産物、野菜類の生産量が減少していることも把握しております。

町としましても様々な対策を講じてきましたが、今後も国の交付金等を活用しながら物価高騰対策に取り組んでまいります。

山口（やまぐち） 太志（ふとし） 議員

議員

今後、由良町の基幹産業である一次産業に対して、少しでも早く支援策を出すべきでは。

町長

農業者、漁業者の方々に対して、令和4年度に国の交付金を活用して農業施設の園芸化の支援とか、水産業の振興を実施したところですが、改めて支援策を検討していきたいと思います。

農業者、漁業者の方が「こういうふうなことをやりたい」と提案していただいたら、補助又はいろいろな取り組みを応援していきたいと考えております。

議員

物価高騰の話ですが、報道では国から2万円の給付が出るような話もありましたが、町独自で一律給付金のような対策は今後考えていませんか。

町長

「町から何らかのお金を」ということですけれども、現時点においては考えていません。

❷ ひだか病院について

議員

腎臓透析治療をやめて、病棟内の4階フロアは閉鎖されているのですが、今後どのようになるのか。

町長

7月4日をもって透析治療を一時中止しています。

透析医療に関わる腎臓内科専門医師の人員確保が困難な状況であり、安全で質の高い透析医療の継続ができないと判断したためであると聞いています。

常勤の専門医が確保できれば、直ちに透析治療を再開する予定であることも聞いています。

4階フロアの閉鎖についてでありますが、一般病棟の療養環境の改善で、浴室等の改修工事を行う必要があり、一時的な休床で、11月末までの期間ということを聞いています。

総務文教常任委員会　教育施設訪問

訪問日
10月16日

訪問先
由良中学校・由良小学校・ゆらこども園

内　容
小中学校：授業参観、懇談（現状報告・取組・要望）
こども園：園内見学、懇談

由良小学校（授業風景）

由良中学校（授業風景）

ゆらこども園（懇談）

小中学校ともに、授業の様子を見学させていただきました。
懇談では各学年の成果や課題の報告を受けました。
こども園では、保育の様子を見学させていただき、懇談では職員の数が増えて充実した保育ができているという嬉しい報告も受けました。

産建厚生常任委員会

県内行政視察

視察日
7月23日

視察地
すさみ町役場
防災道の駅すさみ

内　容

①すさみ町 ICT 防災訓練について
②防災道の駅すさみについて
③すさみ町新役場庁舎建設事業について

すさみ町は、南海トラフ地震のような大規模災害への備えとして、ICT（情報通信技術）を積極的に活用した防災対策に力を入れています。庁舎は津波浸水区域内にありますが、職員の安全確保と、災害時の業務継続性を高めるため、高台へ移転建設中です。

「道の駅すさみ」は、地域の防災拠点として重要な役割を担っています。ICT 技術であるドローンを導入し、災害時に孤立が懸念される地域への物資輸送や情報収集に活用するため、訓練も行っており、非常に有効な手段だと考えられます。

本町も、孤立集落になることが想定されているので、こういった取り組みを更に研究していきたい。

議会広報編集委員会

令和７年度 町村議会 広報研修会

研修日
８月28日

研修会場
LINE CUBE SHIBUYA（東京都）

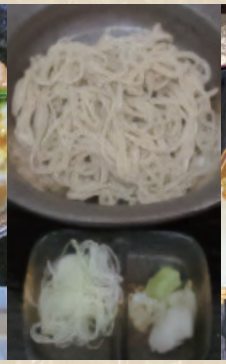
内　容

①インタビュー記事を足して読まれる広報紙にしよう
②スマートフォンを活用した撮影技術・動画作成の基本～一人でもできる撮影ノウハウ、インタビュー撮影技術～
③議会活性化と連動した広報紙づくり～住民の政治参加をうながすツールに～

住民の皆様に読まれる議会広報紙を作るためには、議会活動に対する関心と理解を深めていただくことが大事だと改めて感じました。

より一層努力してまいります。

本格蕎麦打ち そば処わくわく



江戸時代後期の木造建築をリノベーションした店内は、まるでその時代にタイムスリップしたような雰囲気。

職人が心を込めて手打ちしたそばはのどごしがよく、上品な味わいでつゆとの相性は抜群。

そば粉の風味を感じて毎回あっという間に食べきってしまいます。

特に数量限定の「十割そば」は食べ応えがあり、そば本来の旨みを存分に堪能できます。

海老や季節の野菜を取り入れた天ぷらの天もりもお勧めです。

そば以外の丼物も充実していて、「親子丼」はとてもおいしいと評判です。

そば打ちには「水回し」「練り」「延し」「切り」という工程がありますが、素材のよさを引き出すため手間をかけています。

産品販売所では地元でとれた野菜や果物、手作り雑貨などを販売しています。

手作り蜂蜜、バジルソースは人気が高くリピーターもたくさんいるそうです。

また、廃油を使った手作り石鹸も好評でSDGsにも貢献しています。

食後や待ち時間を利用して、お気に入りの逸品を見つけてみてはいかがですか。

ゆらっと紀州内
NPO法人**由良わくわく塾**
〒649-1102
和歌山県日高郡由良町中 257－1
【営業時間】11 時～ 15 時
【定休日】水曜日・木曜日
・第３日曜日・年末年始

編集後記

２０２５年は、日本中が記録的な猛暑に見舞われ、やっと秋を迎え、そして、秋祭りで町の若い衆が声を張り上げ御輿を担ぐ姿が眩しく感じ、町に元気と賑やかさをもたらす光景が素晴らしいです。

議会広報を読んで、町が元気になるよう、皆さんの声を議会へ届けていただきたい。

笑顔で暮らせる笑顔が溢れる由良町になることを願います。

（太）

議会広報編集委員会

委員長	山本　大
副委員長	岩﨑　武司
委員	三上　幸夫
委員	山口　太志
委員	川出　純